



「プロジェクト未来遺産」登録証伝達式(岡山県備前市) ユネスコ協会会長 池田 満之

この度、岡山ユネスコ協会と備前市（教育庁）が推薦した岡山県備前市三石地区における「三石灯りの街～子どもたちと伝える耐火煉瓦で栄えたまちの記憶～」（Mプロジェクト協議会）が、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録が決定し、2023年5月22日（月）、三石ふれあいセンターにて、登録証伝達式を行いました。この「プロジェクト未来遺産」は、地域の文化・自然遺産の継承に取り組む市民の活動を顕彰するもので、岡山県備前県民局内では初めての登録です。伝達式は、地元の中学生在が司会を務め、日本ユネスコ協会連盟からの登録証の授与、登録されたプロジェクト関係者によるスピーチ、備前市の副市長、市議会議長、教育長、ならびに岡山ユネスコ協会会長による祝辞、昔の三石の映像の上映や未来遺産選考委員（北海道大学の西山徳明教授）による記念講演、三石の歴史写真パネル展、「三石灯りの街」の点灯デモンストレーションなどを行いました。地元のゆるキャラ「ミタゴン」もサプライズで登場するなど、なごやかな雰囲気の中、小中学生を含む約100名の参加者で未来遺産登録を祝いました。8月11日（金）～13日（日）に「三石写真美術館」を三石公民館で、9月9日（土）に「三石灯りの街」を三石中学校グラウンドなどで開催する予定です。岡山ユネスコ協会としても、備前市（教育庁）と共に、今後も伴走支援していきたいと思います。



「県立玉島高校で出前講座を行いました！」

事務局 井上 紘貴

2023年6月9日金曜日、倉敷市玉島の県立玉島高等学校にて、1年生約40名を対象に「ユネスコについて知ってみよう！」という題目で講演させていただきました。当日は角田理事と青年部の香川会員とで訪問しました。

玉島高等学校では1年生を対象とした独自の探求学習「ユニット学習」を展開しており、これは単に外部講師の話を聴くだけでなく、講義後にChromebookを用いて聴いた内容をまとめて、別の生徒にもアウトプットするといったもので、情報をまとめる力や発信力の育成を狙ったものだそうです。



1コマ45分という限られた時間の中でしたが、ユネスコの成り立ち、岡山ユネスコ協会の活動について説明した後、簡単なワークとして日本国内にある世界遺産に関するクイズもを行い、最後に高校生へのアドバイスで締めくくりました。

今回の講義で少しでもユネスコ活動や日本の世界遺産について興味・関心を持っていただいたり、これからの進路について役立つことが一つでもあれば幸いに思います。

講義終了後も質問のある生徒さん複数名でちぢんまりとした座談会を行いました。ユネスコ活動、進路、海外留学など多岐に渡って話が盛り上がったと同時に、私達も熱心な生徒さんたちの姿に刺激を受けました。

コロナ禍の3年間でなかなか思うように活動ができずこいしましたが、久しぶりに高校生たちの前で講演させていただき、私達も楽しませていただきました。今後も様々な学校で講座やイベントを実施していきたいです。



留学生だより Part 2

理事 川口 芳子

専門学校岡山情報ビジネス学院の国際ITシステム学科には、新型コロナの影響で昨年と今年の入学性は減少したので、現在28名の留学生が在籍しています。在籍している留学生の母国は、ベトナム、インドネシア、ネパール、バングラディッシュ、スリランカ、ミャンマー、韓国の7か国です。

本校は2期生までの卒業生が、日本の社会で活躍しており、日本で学んだ学生たちが、これから日本の企業で活躍していくことを望んでいます。

今回は、Part2としてスリランカの学生の「屋台料理」について書いてもらいました。

屋台料理--විදි ආහාර--Street Foods

屋台で食べ物が最初に売られたのは、古代ギリシャです。路上で、小さな魚のフライが売られていたと考えられています。屋台の食べ物は、レストランではなく路上で調理されるという点で、他の種類の食べ物とは異なります。「ストリートフード」という用語は、公共の場所、特に路上で販売され、場合によっては調理される、すぐに食べられる幅広い食品や飲料を指します。

ほとんどの屋台の食べ物は、フィンガーフードとファーストフードの両方に分類され、レストランでの食事よりも平均して安いです。屋台の食べ物は、注文を受けてから目の前で調理されます。お金を払った顧客の目の前で調理されるので、多くの人にとって、安心感をもたらします

屋台料理、Street Foods、は日本では大阪が有名です。外国人にとっても大阪の Street Food は有名です。私の母国、スリランカは食の楽園のような国です。スリランカではコロombo市が、屋台の食べ物で有名ですが、どの州にも独自の料理があります。訪れる外国人は誰でも自分の好みに合った食事を楽しむことができます。しかし、日本の屋台の食べ物のほとんどは甘いもの、塩辛いもの、または調理されていない生の食べ物なので、一部の外国人はそれを味わう前に考えてしまいます。

日本とスリランカの屋台料理の違いと似ているもの

たこ焼きとフィッシュカツレツ(මාළු කට්ටි)

最も人気のある屋台の食べ物の 1 つはたこ焼きです。たこ焼きは、生地（小麦粉、水、卵）とタコを特製のたこ焼き型で一口サイズに焼き、甘くて濃い色のたこ焼きソースをかけて食べます。青海苔と鰹節少々上にのせます。

フィッシュカツレツはスパイシーで風味豊かな味わいで、一日中いつでも食べられます。これらの前菜なしでは、パーティー スプレッドはまったく同じものにはなりません。(日本のタコ焼きと似ていますが、少しから味です。)



「第24回 平和の鐘を鳴らそう! in 長泉寺」開催のご案内

“平和の鐘を鳴らそう”は、ノーベル賞受賞者たちによって起草された「わたしの平和宣言」を紹介しながら、参加者が交互に鐘をうつことによって“平和への祈りと願い”を表現するイベントです。

2000年、ユネスコが提唱し国連が定めた「平和の文化国際年」は、戦争や争いがない21世紀を作っていく為に私たち一人ひとりが出来る事から行動していくことを呼びかけました。さらに、2001年から始まった「世界の子供たちのための平和の文化と非暴力の国際10年」は、これからの世界を担う子どもたちに地球環境までも含む全ての暴力の否定から平和を作って行こうと呼びかけています。これを受けて岡山ユネスコ協会では、平和への祈りと願いを広めるため「平和の鐘を鳴らそう」を毎年8月15日に開催しています。



平和の鐘を鳴らそう！in 長泉寺 プログラム

- 11:45 開会案内 長泉寺 鐘楼門 集合
11:50 開会あいさつ 岡山ユネスコ協会 池田 満之会長
11:55 わたしの平和宣言朗読
12:00 平和の鐘を鳴らそう：平和への想いをこめて、一人ずつ鐘をつきます
＜小休憩・移動＞
12:20 DVD鑑賞「星は見ている」視聴
朗読座「女優・紺野美沙子」さんによる朗読（約30分）
～全滅した広島一中一年生父母の手記集より～
13:00 参加者による「平和を語る」座談会（約30分）
13:30 閉会挨拶および謝辞 岡山ユネスコ協会 田畑 美和子副会長

<開催概要>

- 日時 2023年 8月15日(火) 11時45分～13時30分
■場所 長泉寺
〒700-0807 岡山市北区南方3丁目10-40 TEL:086-223-7450
※駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関にて
お越しください。岡電バス・宇野バス「長泉寺」バス停にて下車すぐ。
■参加費無料・事前申込不要
■お問合せ 岡山ユネスコ協会 担当：井上
TEL:050-3551-0642 E-mail: okayama@unesco.or.jp
■主催 岡山ユネスコ協会
■共催 平和の樹 岡山
■協力 特定非営利活動法人こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）
■後援 (社)日本ユネスコ協会連盟

<編集後記>

中国地方も梅雨明けとなり、夏の暑さが本格的に続く今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。ニュースレターは今回で第63号の発行となりました。会員の皆様方には、ユネスコの活動について理解していただき、今後のご協力をお願いいたします。これからもニュースレターを通して、会員の皆様からのご意見、ご感想をどしどし取り入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。連絡はメールでもかまいません。

理事 川口 芳子

